



読書を楽しんでいますか？



Vol.4.3 (R8.5 発行)

なるほど山梨データ学園 Vol.4.2 (2024 年(R6)) では、本に関する統計調査結果を紹介しました。今回は、2026 年(R8) 現在の本に関する統計調査結果を紹介していきます。過去の結果と比べてどのように変わったのか、一緒に見てみましょう！

【ランキング1位】

ねえ、先生。
山梨県は、本に関する統計で1位になったのが1つあったけど、最近はどうなの？



ルイ君



本間先生

いい質問ですね。
次のページで最近の結果を見てみましょうか。

おお～！ドキドキする！
みんなも予想してみてください！



前回（2018年(H30)時点）も今回（2021年(R3)時点）も
図書館数が1位なんだ！



そうです！
図書館の数は、2調査連続で山梨県が1位でした！



図1 人口100万人当たりの図書館数ランキング



「統計でみる都道府県のすがた」（総務省統計局）(<https://www.stat.go.jp/data/k-sugata/index.html>)より

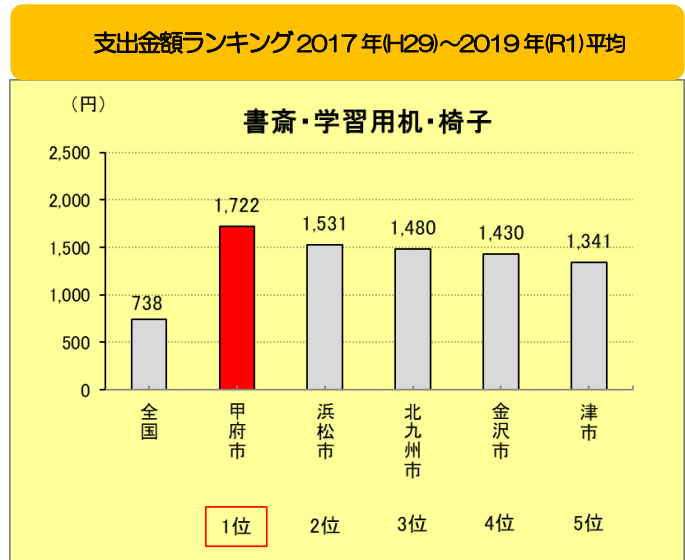
今回も図書館数が1位なのはすごいね！！



ちなみに読書に関連するものだと、2017年(H29)～2019年(R1)の書
斎・学習用机・椅子の平均支出金額が全国1位だったのよ。



図2 1世帯当たりの年間の書斎・学習用机・椅子 支出金額ランキング



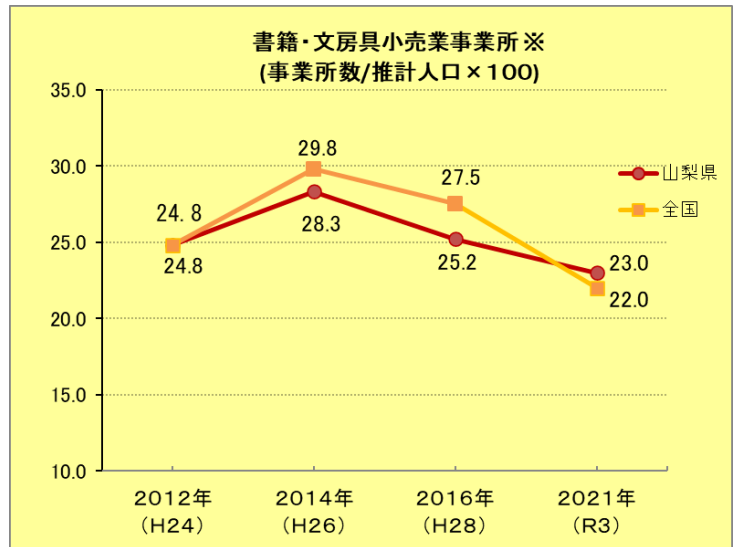
「家計調査結果」(総務省統計局) (<https://www.stat.go.jp/data/kakei/index.html>)
データは、二人以上の世帯・品目別都道府県所在市及び政令都市ランキング (H29~R1 年平均)

【書籍・文房具小売業事業所数】

でも最近、近所の本屋さんが増えてきたような気がするんだけど・・・

書籍・文房具小売業事業所数をみてみましょうか。

図3 人口当たりの書籍・文房具小売事業所数の推移



「経済センサス基礎調査結果」「経済センサス活動調査結果」(総務省統計局) (<https://www.stat.go.jp/data/e-census/index.html>)、
「人口推計」(総務省統計局) (<https://www.stat.go.jp/data/jinsui/index.html>)を加工して作成

※ 主として書籍、雑誌、新聞、紙、紙製品及び文房具を小売する事業所をいう。古本を小売する事業所も本分類に含まれる。
ただし、主として書籍、雑誌を貸出する事業所は含まない。書籍・雑誌小売業(古本を含む)一書店、洋書取次店、古本屋、楽譜、カレンダー新聞小売業—新聞販売店、新聞取次店、紙・文房具小売業—洋紙、板紙、和紙、心すま紙、障子紙、帳簿類、ノート、万年筆、鉛筆、ペン、インキ、すずり、筆、朱肉、製図用具、そろばん、手工材料、絵画用品(絵具、毛筆、パレット、画架、クレヨンなど)、アルバム

2014年(H26)以降は、全国も山梨も減っているね。

【電子書籍】



次は、電子書籍の購入金額の動きを見てみましょうか。



図4 1世帯当たりの年間の電子書籍への支出金額の推移(全国)

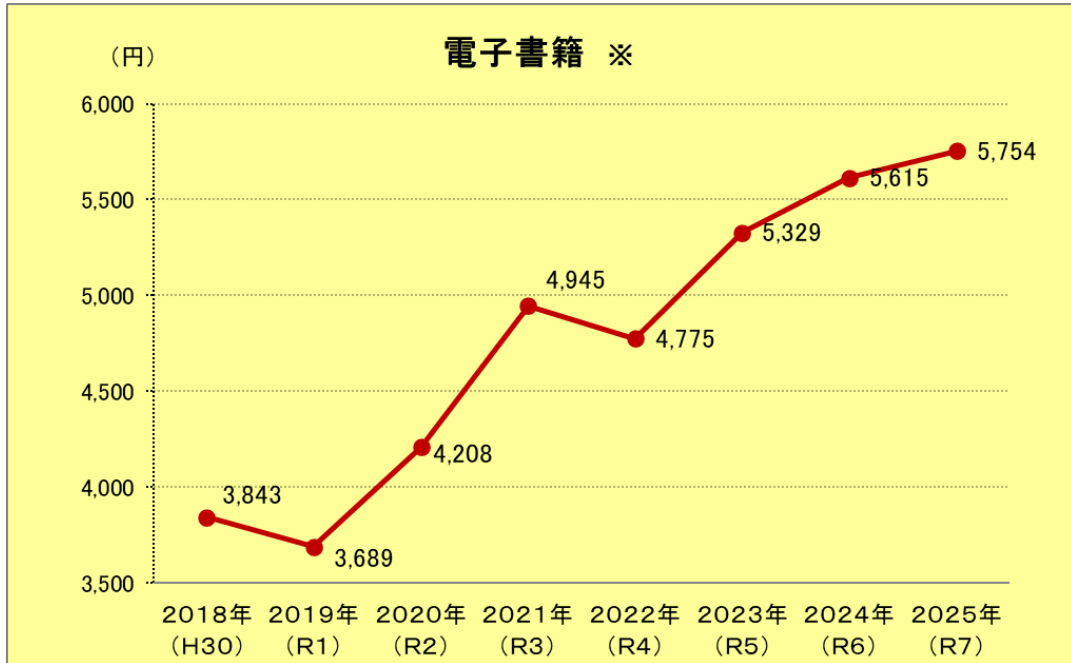
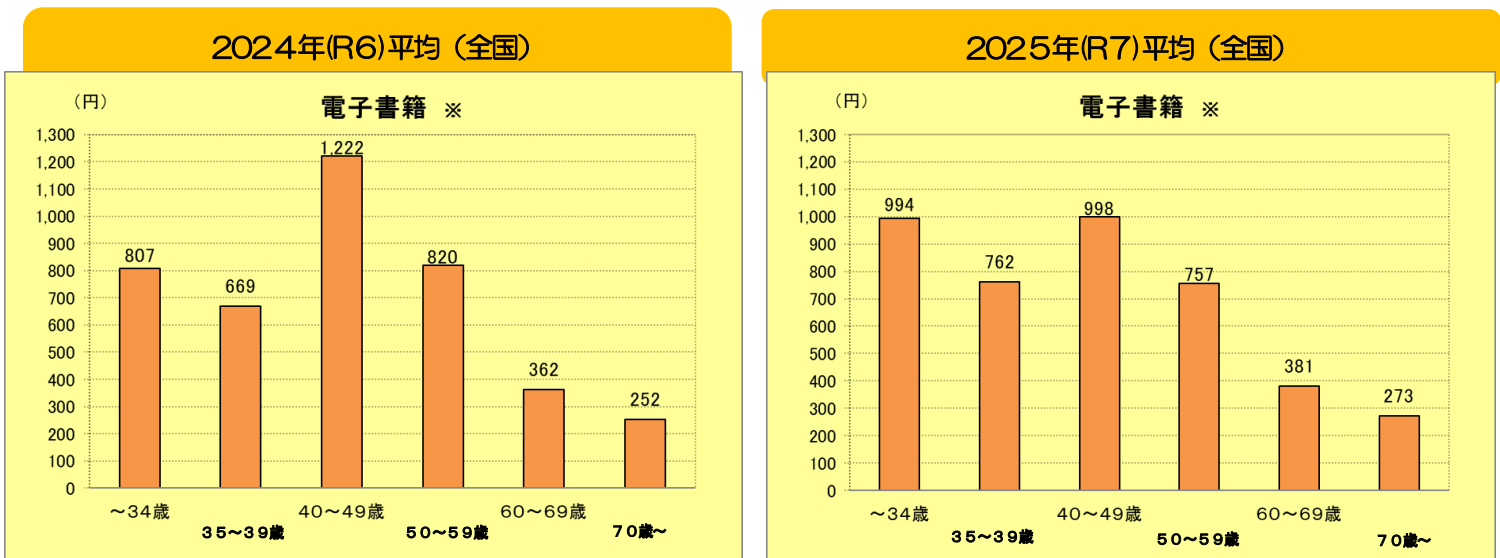


図5 世帯主の年齢階級別電子書籍への支出金額



「家計消費状況調査」(総務省統計局) (<https://www.stat.go.jp/data/joukyou/index.html>)を加工して作成

※ 平成27年1月より調査開始。「電子書籍」とは、パソコンや携帯電話、タブレット型端末などで読むタイプの書籍(新聞、雑誌などを含む)であり、印刷物になっているものは除く。



2019年(R1)以降、電子書籍の購入金額が大きく上がっています。紙の本ではなく、スマートフォンやタブレットで読書を楽しむ人が増えたのかもしれませんが

【山梨県の取組み】



読書は、国も山梨県も推進しているの。

へえ。



具体的には法律があって、例えば知的で心豊かな国民生活を実現するために「文字・活字文化振興法」、子どもの健やかな成長に資するために「子どもの読書活動の推進に関する法律」※があるの。

※ 文部科学省HP「子どもの読書活動の推進に関する法律」

https://www.mext.go.jp/a_menu/sports/dokusyo/hourei/cont_001/002htm

そうなの？



「やまなし読書活動促進事業『わたしと本とあなたと』」※により、読書活動を推進しているのよ。



※ 山梨県教育委員会社会教育課HP「やまなし読書活動促進事業「わたしと本とあなたと」

<https://www.pref.yamanashi.jp/shougai-gks/dokushosokushin/dokushosokushin.html>

例えば、どんなことをしているの？



秋の読書週間に合わせた『やま読ブックフェア』が、毎年、開催されているわね。期間中は、公立図書館・学校図書館・書店が、統一のテーマを掲げ、普段あまり読書をしないみなさんにも本を手にとってもらえるよう、本の魅力を一齐に発信しているわ。2025(R7)年度は、「**かくれ** やまなしを探せ！」をテーマに、県内の図書館や本屋さんが協力して開催されたわ。「これは山梨では!？」と思う本を SNS で共有し、山梨と本の魅力を発信よ。

他にも、「贈りたい本大賞」や「ビブリオバトルやまなし」、書店や図書館を巡る「やま読ラリー」、どの企画も熱いわよ。だけど、気軽に参加できるわね。



そうそう、県の教育委員会では、『**おうちで読書**』(家^{うちどく}読推進運動)※も勧めているのよ。年代ごとの「家読100選」を作成していて、「読書をきっかけに、家族のコミュニケーションを豊かにしよう」と、県のホームページで好評公開中だわ。のそいてみてね。

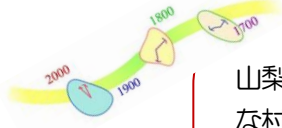
※ 山梨県教育委員会社会教育課HP「「しなやかな心の育成推進事業」社会教育課の取り組み」

https://www.pref.yamanashi.jp/shakaikyo/shinakoko/syakyo_torkumi.html

楽しそう。
見てみよう!!



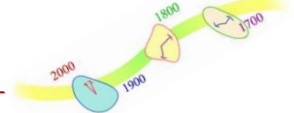
【山梨県の文学者】



山梨県は、県出身の飯田蛇笏、NHK 朝ドラ「花子とアン」で有名な村岡花子、県ゆかりの樋口一葉、太宰治など多くの作家がいるのよ。ちなみに県出身の直木賞作家は、木々高太郎さん、檀一雄さん、林真理子さんや辻村深月さんがいるわ。

林さんは、実家が本屋さんで子どもの頃から本をたくさん読んで育ったそうよ。2018年（H30）に放送されたNHK大河ドラマ「西郷どん」の原作を書いているわ。

辻村さんも図書館が好きで、よく通っていたそうよ。



直木賞と並んで有名な芥川賞も、小尾十三さん、李良枝さん、保坂和志さんと、県出身の三人の作家が受賞しているのよ。

夢は芥川賞、直木賞作家！
早速図書館、文学館に行かなくちゃ！！



図書館ではイベントもたくさん開催されているよ。
近くの図書館に行ってみてね。



皆さん、ご存知でないかもしれませんが、僕は山梨県立図書館キャラクター「本探偵 シッポ・ホンムズー世」です。よろしくね！！

本って楽しい！



たくさん本を読んでね！

山梨県立図書館HP
[\(https://www.lib.pref.yamanashi.jp/\)](https://www.lib.pref.yamanashi.jp/)

山梨県立文学館



文学館では、県出身・ゆかりの文学者の直筆原稿などの貴重な資料を展示しているのよ。



山梨県立文学館HP
[\(https://www.bungakukan.pref.yamanashi.jp/\)](https://www.bungakukan.pref.yamanashi.jp/)

国、山梨県及び市町村では、他にも様々な統計調査が行われています。
統計調査に、御協力よろしくお願いいたします。

(参考) 総務省統計局が開設している統計学習サイトを紹介します。

「なるほど統計学園」 <http://www.stat.go.jp/naruhodo/index.html>

【キャラクター紹介】



今回はルイ君、本間先生
が登場しています。

※キャラクターは総務省統計局の承諾を得て使用しています。